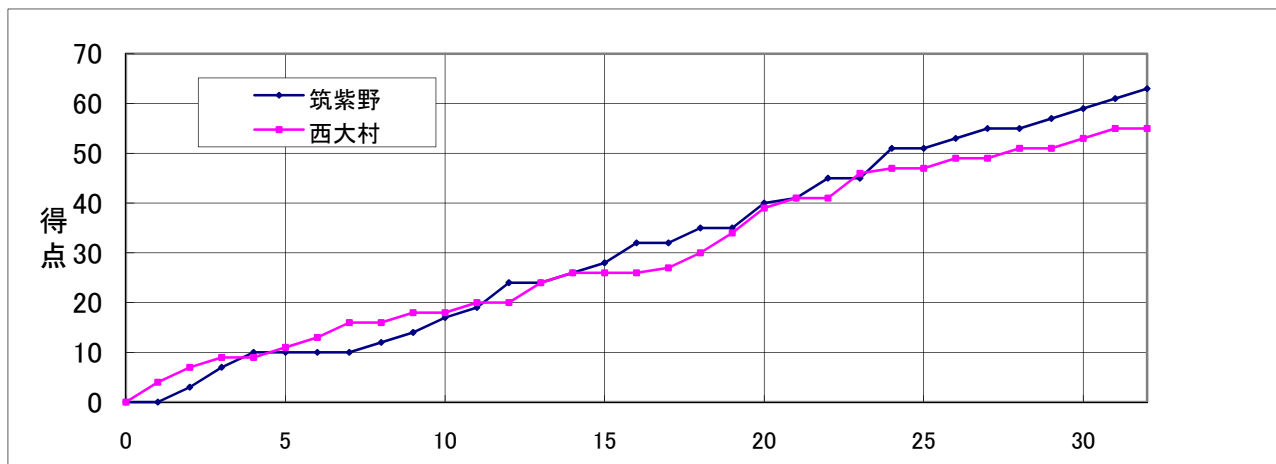


大会名	平成22年度 九州中学校体育大会 第40回九州中学校バスケットボール競技大会	A6	16:40	男子2回戦																
	期日	2010年(平成22年)8月6日(金)	筑紫野 63 (福岡1位) ○	<table border="1"> <tr><td>12</td><td>—</td><td>16</td></tr> <tr><td>20</td><td>—</td><td>10</td></tr> <tr><td>19</td><td>—</td><td>21</td></tr> <tr><td>12</td><td>—</td><td>8</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table>	12	—	16	20	—	10	19	—	21	12	—	8	—	—	—	55 西大村 ● (長崎2位)
					12	—	16													
20	—	10																		
19	—	21																		
12	—	8																		
—	—	—																		
会場	大分県立総合体育館																			

主審 御手洗 亮 副審 井上 聖也



タイム・アウト(経過時間)

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
11:27 15:43	— —	—	—

筑紫野

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 帯刀 滉暉 (C)	14	2	3	2	2
5	* 砥綿 啓伍	26	3	7	3	0
6	* 野中 亮吾	4	0	1	2	0
7	* 中村 文紀	8	0	3	2	3
8	添田 拓斗	—	—	—	—	—
9	原田 成斗	—	—	—	—	—
10	鐘江 啓斗	—	—	—	—	—
11	市川 恭平	—	—	—	—	—
12	* 濱田 健太	10	0	5	0	2
13	安藤 琢郎	1	0	0	1	3
14	瀬戸 洸平	—	—	—	—	—
15	田代 浩太郎	—	—	—	—	—
16	久松 龍孔	—	—	—	—	—
17	榊 洸哉	—	—	—	—	—
18	野中 貴仁	—	—	—	—	—
コーチ 後藤 かおる						
合計		63	5	19	10	10

タイム・アウト(経過時間)

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
10:31 13:46	28:11 29:44 31:50	—	—

西大村

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 見明 樹 (C)	2	0	1	0	5
5	* 大西 孝尚	19	2	6	1	2
6	* 山口 夏奈人	14	0	5	4	1
7	* 鈴木 陸	9	0	4	1	1
8	内村 司	3	1	0	0	0
9	柳 淳一郎	0	0	0	0	2
10	斎藤 亮佑	—	—	—	—	—
11	* 松田 拓人	6	0	3	0	1
12	小畑 優人	2	0	1	0	0
13	米須 楽人	—	—	—	—	—
14	口石 剛大	—	—	—	—	—
15	松浦 和憲	—	—	—	—	—
16	若松 晃太郎	—	—	—	—	—
17	片岡 亘	—	—	—	—	—
18	林 拓海	—	—	—	—	—
コーチ 横田 昌臣						
合計		55	3	20	6	12

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

ベスト4をかけたAコート2回戦第2試合は、ともに1回戦の激戦を制した福岡県代表筑紫野中と長崎県代表西大村中の対戦となった。試合は西大村#5大西#7鈴木の連続得点で先制スタート。すかさず筑紫野は#4帯刀の3Pで応戦。筑紫野はオールコートの2-1-2ゾーンプレス、西大村はハーフコートのゾーンディフェンスでお互いに流れをつかもうとする。西大村はリバウンドを制し有利に試合を運ぶのに対し、筑紫野は#5砥綿のドライブを中心に攻めるがシュートが思うように決まらず、16-12西大村リードで1Q終了。

2Q、西大村は1-3-1ゾーンに、筑紫野は2-1-2のプレスから2-3ゾーンのディフェンスへと変更しリズムをつかもうとする。筑紫野は#7中村のドライブ#5砥綿のアウトサイドシュートで攻め、さらにプレスディフェンスが効き始め、連続ポイントで逆転に成功する。その後は一進一退の攻防が続き、西大村はディフェンスをもとに戻して#4見明のドライブからの得点などで再逆転。しかし、終了間際に筑紫野が連続得点し、32-26筑紫野リードで前半を終える。

3Q、西大村は1-3-1ゾーンからの速攻を繰り出し追い上げる。対する筑紫野も#6野中#12濱田の得点で突き放しにかかる。互いに激しいディフェンスで好ゲームを展開する。西大村は#5大西のリバウンドシュートなどでしぶとく喰らいつき、残り1分#11松田の速攻でついに逆転。しかし、筑紫野は冷静に得点し51-47で筑紫野がリードして3Q終了。

4Q、西大村#5大西のゴール下、筑紫野#12濱田のリバウンドシュートで一步も譲らない。何とかしたい西大村は残り4分タイムアウトをとるがこう着状態が続く。筑紫野#4帯刀の速攻で残り2分でリードは6点。西大村#6山口の得点で最後の粘りを見せるが、筑紫野#4帯刀の得点などで突き放し63-55で筑紫野が勝利を収め、準決勝へとコマを進めた。終始冷静にゲームコントロールをした筑紫野の上手さと、西大村の最後まで諦めないひたむきなプレーはベスト4をかけた戦いにふさわしいものであった。

記載者 中野、堀之内 (所属) 大分県中体連バスケット専門部